

令和元年度 事務事業評価(平成30年度実施事業事後評価)シート / 令和2年度 実施計画調書 (  新規  拡充  縮小  休止・廃止  現状維持 )

1 事務事業の基本情報										整理番号	089							
事務事業名	幼稚園振興事業費			補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計	款	10	項	04	目	02	事業	01
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課		担当係	学務係												
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称: )				根拠法令及び市条例等	<input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称: ) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称: ) <input type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称: )												

2 事務事業の目的		①「望ましい状態」とはどのような状態か？→ ②一方で、「現状や課題」はどうか？→ ③そのためには何をすべきか？ という過程で考えていただいても結構です。	
現状課題	文部科学省による幼稚園教育要領に基づき、身近な物や遊具に興味を持って関わり、考えたり試したりして工夫して遊べる環境を整えるため、さらなる図書・教材の購入が必要になる。	誰・何を対象に	園児212人(10/1現在)
		どのような方法・手順で	①図書・教材の購入 ②幼稚園事業に必要な園児への賞品・景品の購入 ③園内での事故発生時における保険加入
		望ましい状態	文部科学省による幼稚園教育要領に基づき、身近な物や遊具に興味を持って関わり、考えたり試したりして工夫して遊べる環境を整える。

3 事務事業の主たる成果指標										数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。									
指標名	園児教育環境の整備	単位	%	目標値	100%	目標年次	2021	年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもって関わり、それらを生活に取り入れて行こうとする力を養うため、図書、教材及び保険等を整備し、それらを扱うなかで、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにすることが目的なため。									

4 事務事業の実績 ㉑										当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。									
年度	平成28年度				平成29年度				平成30年度										
	業務名			活動量	業務名			活動量	業務名			活動量							
事務事業を構成する主な業務	① 園児奨励費	適宜		① 園児奨励費	適宜		① 園児奨励費	適宜		① 園児奨励費	適宜								
	② 筆耕料	1回		② 筆耕料	1回		② 筆耕料	1回		② 筆耕料	1回								
	③ 教材用備品購入	適宜		③ 教材用備品購入	適宜		③ 教材用備品購入	適宜		③ 教材用備品購入	適宜								
	④ 日本スポーツ振興センター共済掛金	1回		④ 日本スポーツ振興センター共済掛金	1回		④ 日本スポーツ振興センター共済掛金	1回		④ 日本スポーツ振興センター共済掛金	1回								
	⑤ 全国市長会賠償責任保険	1回		⑤ 全国市長会賠償責任保険	1回		⑤ 全国市長会賠償責任保険	1回		⑤ 全国市長会賠償責任保険	1回								
	⑥			⑥			⑥			⑥									
	⑦			⑦			⑦			⑦									
	⑧			⑧			⑧			⑧									
	⑨			⑨			⑨			⑨									
	⑩			⑩			⑩			⑩									
	⑪			⑪			⑪			⑪									
	⑫			⑫			⑫			⑫									
目標値に対する実績値			100	%	目標値に対する実績値			100	%	目標値に対する実績値			100	%					
決算額	計	672,041 円	内訳	特定財源	0 円	計	670,338 円	内訳	特定財源	0 円	計	615,655 円	内訳	特定財源	0 円				
				一般財源	672,041 円				一般財源	421,345 円				一般財源	615,655 円				
(住民一人あたりの行政コスト)				11 円	(住民一人あたりの行政コスト)				11 円	(住民一人あたりの行政コスト)				10 円					

5 担当者評価 ㉒		実施したことによる成果や問題点を記入してください。	
成果	ほぼ目標どおり 成果内容	周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもって関わり、それらを生活に取り入れて行こうとする力を養うため、図書や教材を整備し、それらを扱うなかで、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにすることができた。	
問題点		文部科学省による幼稚園教育要領に基づき、身近な物や遊具に興味を持って関わり、考えたり試したりして工夫して遊べる環境を整えるため、さらなる図書・教材の購入が必要になる。	

6 担当部長及び担当課長評価 ㉓		担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。	
事務事業の方向性			
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止			
評価理由	図書購入、保険加入は幼稚園運営上必要な事業である。		

7 実施計画 ㉔										今後3年間の事業内容について、どのようなことを・どの程度実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。									
年度	令和元年度				令和2年度				令和3年度										
事業内容	①園児奨励費 ・運動会の記念品代 ・講師謝礼 ②筆耕料 ・卒業証明書 ③教材用備品購入 ④日本スポーツ振興センター共済掛金 ・学校の管理下における児童の災害(負傷、疾病、障害又は死亡)に対して災害共済給付(医療費、障害見舞金又は死亡見舞金の支給)を行う。				①園児奨励費 ・運動会の記念品代 ・講師謝礼 ②筆耕料 ・卒業証明書 ③教材用備品購入 ④日本スポーツ振興センター共済掛金 ・学校の管理下における児童の災害(負傷、疾病、障害又は死亡)に対して災害共済給付(医療費、障害見舞金又は死亡見舞金の支給)を行う。				①園児奨励費 ・運動会の記念品代 ・講師謝礼 ②筆耕料 ・卒業証明書 ③教材用備品購入 ④日本スポーツ振興センター共済掛金 ・学校の管理下における児童の災害(負傷、疾病、障害又は死亡)に対して災害共済給付(医療費、障害見舞金又は死亡見舞金の支給)を行う。										
	⑤全国市長会賠償責任保険 ・市が設置・管理する学校施設の瑕疵並びに学校業務遂行上の過失に起因する事故に対し、市が法律上の賠償責任が生じることによって被る損害に対して保険金が受け取れる。				⑤全国市長会賠償責任保険 ・市が設置・管理する学校施設の瑕疵並びに学校業務遂行上の過失に起因する事故に対し、市が法律上の賠償責任が生じることによって被る損害に対して保険金が受け取れる。				⑤全国市長会賠償責任保険 ・市が設置・管理する学校施設の瑕疵並びに学校業務遂行上の過失に起因する事故に対し、市が法律上の賠償責任が生じることによって被る損害に対して保険金が受け取れる。										
	⑥地震賠償責任保険 加入施設の制限(全幼稚園の加入が不可能)のため、未実施とする。																		
	⑥地震賠償責任保険 加入施設の制限(全幼稚園の加入が不可能)のため、未実施とする。																		
	⑥地震賠償責任保険 加入施設の制限(全幼稚園の加入が不可能)のため、未実施とする。																		
	⑥地震賠償責任保険 加入施設の制限(全幼稚園の加入が不可能)のため、未実施とする。																		

8 財務アドバイザーの見解	
『常総市財政健全化計画』では、2017～2019年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は2020年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いことが期待される2019年度の一般財源予算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。	

9 行政改革懇談会(市民)の意見	
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。 幼稚園教育要領に基づき、園児たちが工夫して遊べる環境を整えるため、本事業は幼稚園運営上必要な事業である。	

10 最終評価(行政改革推進本部) ㉕	
事務事業の方向性	
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
評価理由	幼児教育に必要な図書や備品を購入し、豊かな感性と表現力を養うことはこの時期に必要な不可欠な事業である。また、不慮の事故に備え保険に加入することは、幼稚園管理運営上必須である。さらに、その他の経費についても幼児教育に必要な経費である。なお、運動会の記念品などについては、園児のニーズの変化に注視して品物を厳選するなど内容を工夫しながら継続すること。

11 事務事業の改善理由及び改善部分 ㉖										実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。									
成果指標	指標名	園児教育環境の整備	単位	%	目標値	100%	指標名	園児教育環境の整備	単位	%	目標値	100%	指標名	園児教育環境の整備	単位	%	目標値	100%	
予算額	歳出	計				662 千円	歳出	計				598 千円	歳出	計				598 千円	
		特定財源				0 千円		特定財源				0 千円		特定財源				0 千円	
	歳入	一般財源				662 千円	歳入	一般財源				598 千円	歳入	一般財源				598 千円	
		計				662 千円		計				598 千円		計				598 千円	

事業内容	厳しい財政状況を鑑みながら、真に必要な備品なのか幼児期の特性を踏まえて精査を行い、園児の健やかな成長に資する良好な環境の整備に努める。
------	---